



職場平和委員会が新たに結成されました！

こんにちは！「ら・ら・ら平和委員会」です



メンバーは茨城の地域医療を担う医療機関の労働組合、茨厚労書記局の3名と少数ですが、平和への思いは1人×〇人分!! (笑) 私たち医療従事者の労働組合スローガンは「生活と医療と平和を守る」です。

戦争中従軍看護婦として戦場で傷ついた兵士の命を助けながらも再び戦場へと送り出してしまったという反省と、再び白衣を戦場の血で汚さないという決意が込められています。コロナ禍となって4年、もともと慢性的な人員不足の医療現場では終わりの見えない新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって崩壊寸前です。大げさではありません。

コロナ以前は学生の実習や新人教育にもある程度時間を割くことができていましたが、コロナ禍となってその余裕は全くなくなりました。その結果、1年、2年目の看護師

の退職率は上がっています。そして補充の無い現場では残された看護師の負担は増大し、耐えきれずに辞めていくという悪循環が続いています。

そんな中、2022年2月24日に始まったロシアによるウクライナ侵略をいいことに、あろうことか日本政府は平和憲法を持つ国とは思えない真逆の防衛費をGDP比2%、これまでの2倍化を推し進めようとしています。これは社会保障費削減＝国民の命を蔑ろにする政治を推し進めるという宣言でもあるということを経験現場から訴えていかなければと思っています。

最後になぜ「ら・ら・ら平和委員会」なのか？まだまだ寒い日が続きますが、偕楽園では梅の花が開花しました。人はウキウキすると鼻歌を歌ったりしますよね？ウキウキするときって何かいいことありそう！と感じたり、嬉しい出来事があった時ではないでしょうか。それは平和（心も）だからこそ感じ得るもの。

世界中で軍歌ではなく「ら・ら・ら♪」と思わず歌を口ずさめるようにという願いを込めました。

阿見平和の会
阿見町九条の会
新日本婦人の会

『二十歳のつどい』参加者に、今年も「憲法豆本」を配りました！

憲法について考える思いを込めて！

2023（令和5）年1月8日（日）、阿見町町民体育館で行われた『二十歳のつどい』（中学校区毎に三部での開催）の参加者に、「阿見平和の会」・「阿見町九条の会」・「新日本婦人の会」が合同で、「二十歳になったきっかけに政治について、平和について、憲法について考えてみましょう」という思いを込めた『豆本』を配布しました。

『豆本』の配布は今年で7回目になり、私もほとんどの年参加させてもらってききましたが、今年は今までより特別な思いを持っての参加となりました。

配布を始めた頃は「憲法九条を知らせたい、改憲させない」という思いを持っていました。ところが今年、日本がずっと守ってきた“専守防衛”から“敵基地攻撃能力の保有”へと憲法を変える事もないまま閣議決定で決まってしまうことから、「憲法九条を守る事が日本の平和を守る事につながります」という思いを二十歳になった若者達に伝えたいという気持ちで配りました。

華やかに振袖を着たり、ピシッとスーツで決めた二十歳の若者達が「わあ、久しぶり」「〇〇さん？分からなかった

～」という声があちこちで聞こえ、自分たちの集いの式が終わっても立ち去り難く、しばらくは体育館の前で集まって話をしている若者達を見ていて、この子達は17歳から20歳までの貴重な青春の3年間をコロナで過ごしたんだな…この子達にとっても特別な『二十歳のつどい』だったんだろうな…と思いました。

「おめでとうございます、豆本読んでください。憲法の手紙が書いてありますよ」と手渡すと、ほとんどの人がもらってく

れました。ほんの少しでも、若者達が平和についてや、政治について考えるきっかけになってくれる事を願っています。

(S.N)





百里連協「日印戦闘機合同訓練」中止を申入れ!

茨城県小美玉市にある航空自衛隊百里基地において「日印戦闘機合同訓練」が1月16日(月)から26日(木)まで実施されました。昨年はオーストラリア・ドイツ空軍とも初めて合同訓練を実施。地元自治体や住民の中止要請を無視し、夜間訓練を強行するなど実践的な訓練が強化されています。憲法違反の「安保3文書」改訂によって、米軍だけでなく、インドやオーストラリアなどとの訓練回数も増え続けています。

県平和委員会など8団体で構成する「百里基地反対連絡協議会」(略称「百里連協」)の呼びかけで、1月13日(金)11時30分から、「日印戦闘機合同訓練」中止の申入れと、抗議集会をおこないました。



約70人が参加。集会中も戦闘機の離発着による轟音が鳴り響き、騒音のひどさを実感しました。



抗議集会は、前日の12日、日米両政府が2プラス2を開催して「日米共同で敵基地攻撃を実行することを盛り込む」など、日本政府が「戦争準備」を加速させていることに対して、危機感と怒りのこもったスピーチが続きました。

つくば市平和委員会の山中康男さんは「戦争の準備をさせないための世論づくりの先頭に立って、考えて、戦争は勿論その準備に対しても反対の声をしっかり上げていこう」と、抗議の訴えをしました。

◀「抗議文書」を読んで提出

一昨年7月におこなわれたオスプレイ訓練反対の抗議集会に「妨害者」2人が乱入しましたが、今回もハンドマイクを持った2人が闖入し参加者を罵倒する言動など、抗議集会のかく乱をくり返しました。しかし集会参加者は手をつなぎ合って妨害者を排除し、冷静に対応しました。そして憲法9条・平和・暮らしを守る決意を新たにしました。

たスピーチが続きました。

一昨年7月におこなわれたオスプレイ訓練反対の抗議集会に「妨害者」2人が乱入しましたが、今回もハンドマイクを持った2人が闖入し参加者を罵倒する言動など、抗議集会のかく乱をくり返しました。しかし集会参加者は手をつなぎ合って妨害者を排除し、冷静に対応しました。そして憲法9条・平和・暮らしを守る決意を新たにしました。

雨が上がった水戸駅南口で反戦を訴える!

1月24日(火)正午、びしょびしょに濡れた水戸駅南口デッキは、すっかり雨が上がっていました。ロシアによるウクライナ侵略から11カ月となるこの日、32回目のスタンディングをおこないました。

前々日の22日は、核兵器禁止条約が発効されてから2年目を迎え、前日の23日は通常国会が開会しました。昨年の12月、岸田政権は日本の安全保障政策を大転換する「安保関連3文書」の改訂を閣議決定しており、「戦争国家づくり」撤回運動がスタートしました。

岸田文雄首相は23日、施政方針演説をおこない、日本は「歴史の分岐点に立っている」とし、「防衛力の抜本的強

ロシアによるウクライナ侵略への抗議 32回目のスタンディング!

化」を挙げました。82年前、「敵基地攻撃能力」という先制攻撃によって真珠湾を攻撃した結果、米国から激しい反撃を受け、日本は焦土と化しました。憲法違反の戦争準備と増税をきっぱり拒否し、岸田政権を退陣に追い込もうと訴えました。





「安保関連3文書」に怒りの声が・・・!

「専守防衛」をかなぐり捨てたとんでもない内容だ!

—茨城県平和委員会 第2回理事会報告—

●1月21日(土)午後、水戸共同ビル2階の会議室において、全県から22名が参加して第2回理事会が開かれました。中心の議論を大きくまとめると、前半は「新聞意見広告」について、後半は「安保3文書反対の取り組み」や「仲間を増やすこと」でした。

●「新聞意見広告」に関しては、別刷りに賛同者の氏名を載せなければ早く配布できるという事務局の提起に、多くの地域から「自分の名前を気にしている人は多い」「次年度集めるときの資料としても大切」「会員以外の方からの協力には不可欠」といった声がありました。また、「もっと



早い時期から集めるべき」「掲載内容をもっと明らかにして集めるべき」といった意

見も出されました。

●岸田内閣が改定した「安保関連3文書」については、多くの理事から「専守防衛」をかなぐり捨てたとんでもない内容だと、怒りの表明がなされました。事務局から提起された2月25日の学習会とともに、反対署名を取り組むこととなりました。さらに「戦争をさせない」ということで地域の他団体と一緒に運動を進めていく意義、東海第二原発はウクライナ戦争を見ても「原発への攻撃」が致命的な弱点になる、廃炉を求めてははっきりと運動しようなどの意見も出されました。

●組織対策では、現在3回ずつ開かれる常任理事会と理事会を各2回にしてはどうか、という提起がありましたが、減らすことでかえって運動全体が弱体化するのではという懸念が示されました。また、若い人とどういう風に接点を作っていくかが重要だという事も出ました。

●最後に、事務局から「『安保関連3文書』の撤回と岸田政権の退陣を求める声明」が提案され、満場一致で採択されました。(事務局が首相官邸にFAX送信しました
《文責:神原 要 事務局次長(水戸西平和の会)》

毎月第3日曜日の平和行動

かすみがうら平和の会

市内ショッピングモールの交差点でスタンディング

かすみがうら平和の会は、1月28日土曜日午後に市内ショッピングモール南角の交差点でスタンディングを行いました。臨時国会と通常国会の間に狡猾に閣議決定した「安保関連3文書」改定によって日本を戦場へと導く岸田政権に抗議の意志を示すのが目的です。これは、毎月第3日曜日に行っている平和行動ですが、今月は地元の市議選が行われたため1週ずらして実施したものです。

地元9条の会との共同行動ですが、参加者は通常よりも多い8人が参加しました。道行く人々や買い物の中からは同意を示すと思われる会釈やVサインが送られました。



「平和、いのち、くらしを壊す 大軍拡、大增税に反対する請願署名」始まる!

— 「平和、いのち、くらしを壊す戦争準備の大軍拡・大增税NO! 連絡会」が提起! —

いま日本は、「戦争か平和か」の歴史的岐路に立っています。

政府は、2022年年末に「安保関連3文書(国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画)」の改定を閣議決定しました。他国に直接の脅威を与え、先制攻撃も可能な「軍隊と武器」(敵基地攻撃能力)を持つとします。2015年の安保法制での「戦争国家づくり」を実践するもので、専守防衛をふみにじる憲法違反です。

不確実性が高まる国際情勢のもとで、憲法9条を持つ国としていま行ふべきは「戦争の準備」ではなく、対話と外交によって「戦争をさける努力」です。それこそ政治の責任です。日本のあり方を根本からくつがえし、くらしを壊す大軍拡を、開かれた論議もなしに閣議決定ですすめたことは、民主主義、立憲主義に反しています。以上のことから、以下のことの実現を求めます。

- 平和、いのち、くらしを壊し、国民に負担を押しつける大軍拡、大增税はやめてください。
- 大軍拡などを決定した「安保関連3文書」改定を撤回してください。

署名取りくみのお願ひ

- ・署名用紙は宅配で地域平和の会へ送付しました。
- ・署名用紙が必要な方や団体は、県平和委員会に連絡を。

☎ 029-251-2806

- ・第1次集約
3月18日(土)



取り組みのご案内

—茨城県平和委員会 新春の集い—

「戦争する国づくりと安保3文書の危険性(仮題)」

講演者 千坂純・日本平和委員会事務局長

とき 2023年2月25日(土) 13:30~15:30

ところ 水戸市・共同ビル 2階(水戸市白梅3-13-8)

■集会は、「リアル」と「オンライン(ZOOM)」で開催します。

■ZOOMで参加希望の場合、事前に下記まで連絡下さい。

【TEL 029-251-2806 茨城県平和委員会事務局】【メール: i-peace877@silk.plala.or.jp】

—県平和委員会 毎月24日 宣伝行動—

「ロシアはウクライナから 撤退せよ!」

とき 2023年2月24日(金)

12:00~13:00

ところ 水戸駅 南口デッキ

■毎月24日に行います。

ぜひ参加しましょう。



—「戦争法の廃止を求める
茨城県民連絡会」19日行動—

「敵基地攻撃能力保持・ 大軍拡・大增税はやめろ!」

とき 2023年2月19日(日) 12:00~13:00

ところ 水戸駅 北口デッキ

■毎月19日に行います。

3月18日(土)は「集会」と「デモ」を予定しています。